

伝えよう つながろう 夢に向かって

NO.4 (2023.3.7)

第4回学校運営協議会を開催しました

2月28日、第4回学校運営協議会を開催しました。今回も「浜田ろう学校の価値を高めるための取組～それぞれの立場でできること～」がテーマです。事前アンケートを実施したところ全ての皆様からご意見をいただきました。それをもとに、4人の委員の皆様と意見交換をいたしました。

□取組経過報告

馬場美帆学校地域協働推進員の協力を得て実施した神楽（小学部）、職場見学（中学部）、HAMADA 魅力化フェスタ（高等部）の報告をしました。魅力化フェスタでは、浜田高校生徒にメンバー募集をしたところ、7名が参加してくれました。事前打ち合わせ・手話講座。オープンチャットを活用した準備確認、そして当日は5名の浜高生と「今日から使える手話講座」「ドラマのワンシーン再現」を行いました。



「浜田ろうの生徒と一緒に活動したい、手伝いたいという純粋で自然な気持ちで浜高生が行動をしてくれた。双方にとって有意義な活動になったし、理解啓発にも繋がったのではないか。」「浜田ろう学校と地域とのふれあいのポイントは手話になる。協働的な学びにも力を入れていることをブログで発信して欲しい。」という意見を頂きました。

□意見交換

二つのグループに分かれ、事前アンケートを基に意見交換を行いました。いくつか紹介します。

- 「浜田ろう学校 ブログ」で検索するのは間口が狭すぎる。InstagramなどのSNSを活用し、「#手話」などで検索できるようにし、HPに誘導してはどうか。どんなねらいをもって発信するかが大切である。
- 地域の難聴児支援のポイントは、保護者・子ども同士が繋がること。子ども同士の学びの場、保護者の体験談の共有が大切ではないか。また、浜田ろうの生徒と対話の機会や卓球体験など、体験的な学習（オープンスクール）を企画してもよいのでは。
- HAMADA 魅力化フェスタのように、手話を活用して地域との交流を進めていくと良いのではないか。
- R5年の70周年に向けて、浜田ろうの歩みの展示、地域の子どもたちが楽しく参加できるお祭りのような企画をしたらどうか。また、卒業生の交流の場として活用できるとよい。

福島会長からは、「来年度は創立70周年。アフターコロナの象徴とした会になるとよい。70年間の歴史を地域の方に感じてもらえる企画を卒業生とともに作ると浜田ろう学校の価値も高まっていくのではないか。」とまとめていただきました。

少人数の学校ですので、全ての意見に対応できませんが、優先順位を付けて、できることから取り組んでまいります。